

「めざそう！安全・安心・日本一」ひろしまアクション・プラン 令和元年（平成31年）の取組状況及び令和2年の取組方向(案)

(1) 令和元年（平成31年）の取組状況

項目（プラン体系）	令和元年の主な取組	取組状況
意識づくり 一人一人の犯罪抵抗力を育む対策	犯罪情報等の発信・共有	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 減らそう犯罪情報官によるテレビ・ラジオ出演、メルマガ、ホームページ、SNS（Facebook、Twitter、Instagram、Youtube）、広報紙など多様な媒体による情報発信【県、県教委、警察、マスコミ等】</li> <li>● 関係機関相互における不審者情報の共有及び情報発信（メール配信など）【県教委、市町、警察】</li> <li>● 安全・安心に関するメルマガの配信や新聞紙面による積極的な情報発信【中国新聞社】ほか</li> </ul>
	自主防犯意識の啓発	<ul style="list-style-type: none"> <li>● フラワーフェスティバルなど各種イベントを通じた防犯キャンペーンの実施【警察、県防犯連合会】</li> <li>● 侵入窃盗予防を目的とした窓ガラスたたき破り実演講習【県生活安全防犯協会、警察等】</li> <li>● 資格を有する講師による「消費生活出前講座」等の開催【広島消費者協会】</li> <li>● カーブの試合時（マツダスタジアム）に消費者被害防止目的の啓発グッズを配布【広島消費者協会】</li> <li>● 事業者との連携による自転車の鍵かけ広報（「カギってる!」）【警察、県自転車協同組合等】</li> </ul>
	規範意識の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>● あいさつ運動・声かけ運動【青少年育成県民会議、県地域女性団体連絡協議会、学校等】</li> <li>● 小学校の授業や市町の行事での地域安全マップづくりの定着を促進【県、PACE 福山、PACE 比治山】</li> </ul>
地域づくり 地域ぐるみで犯罪抑止力を高める対策	子供・女性・高齢者等の安全確保の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 子ども防犯指針を踏まえた防犯活動の推進</li> <li>○ ストーカー被害・配偶者暴力被害に対する支援</li> <li>○ 子供・女性の犯罪被害防止対策等の推進</li> </ul>
	高齢者等の犯罪被害防止対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 登下校を中心とした定期的な見守り活動【学校、防犯ボランティア等】</li> <li>● 全ての市町で「登下校防犯プラン」に基づき、教育委員会、学校、PTA、警察、道路管理者等で構成する推進体制を構築</li> <li>● 子供・女性の安全確保対策の推進【県、県教委、市町、警察、県防犯連合会、県地域女性団体連絡協議会等】</li> <li>● 通学路の安全点検の実施と要注意箇所の把握・周知（平成30年度実績：小学校100%、中学校99.6%、高校93.7%）</li> <li>● 「登下校防犯プラン」に基づく合同点検の実施</li> <li>● 県民、関係事業者等に日常生活の中でできる「ながら見守り」活動への協力を依頼（平成31年3月）</li> <li>● 県内全小学校対象の防犯指導及び教職員を対象とした不審者対応訓練の実施</li> <li>● 防犯マニュアル「犯罪から身を守る女性の知恵」の作成・配布</li> <li>● セーフティ・ステーション活動を通じた子供・女性の保護【広島県コンビニエンスストア防犯連絡協議会等】</li> <li>● DV対策関係機関連絡協議会の開催【県、警察等】</li> <li>● DV防止に係る啓発活動及びDV被害者等の一時保護の実施等【県、警察等】</li> <li>● 休日・夜間電話相談の実施（平成30年度実績：1,244件）、一時保護の実施（平成30年度実績：99件）</li> </ul>
	地域防犯活動の促進と防犯リーダーの育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 防犯ボランティア団体等の活動の活性化・定着化</li> <li>○ 防犯リーダーの育成</li> </ul>
	事業者による防犯対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 防犯CSR活動の促進</li> <li>○ 職場防犯リーダーによる情報発信</li> </ul>
	健全で魅力あるまちづくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 健全で魅力あふれる繁華街・歓楽街の形成</li> </ul>
	新たな課題に対応した防犯対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ インターネット利用における被害防止対策の推進</li> <li>○ 薬物乱用防止対策の推進</li> </ul>
	環境づくり 犯罪抑止力の高い住生活環境を整える対策	防犯に配慮した生活空間の整備促進
安全・安心を支える体制と基盤の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 連携体制の整備・強化</li> <li>○ 犯罪被害者等への支援の推進</li> <li>○ 多文化共生を可能とする社会基盤の整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「減らそう犯罪」推進会議の開催【県民、事業者、関係団体、行政等】</li> <li>● 犯罪被害者等基本法に基づく犯罪被害者支援の推進【県、警察等】</li> <li>● 犯罪被害者等支援総合窓口や被害者フリーストッパーひろしまの運営、市町担当職員研修会の開催、各種広報啓発など</li> <li>● 犯罪被害者無料電話相談等の実施【弁護士会等】</li> <li>● 外国人実習生等を対象とした防犯・交通安全教室の開催【事業者、警察】</li> </ul>
観光客の安全確保に向けた取組の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 観光地における安全な公共空間の確保</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 観光地を管轄する交番、駐在所及びパトカー勤務員によるパトロール及び駐留警戒活動の強化【警察】</li> <li>● 翻訳用タブレットの整備【警察】</li> <li>● 翻訳機能及び地図機能を有するタブレット端末を、多数の外国人の来所が予想される交番等（8か所）に配置</li> </ul>
安全なサイバー空間の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ インターネット空間における浄化活動の推進</li> <li>○ サイバー空間の脅威に関する情報共有の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 違法情報取締りや児童ポルノ事犯等有害環境浄化事業による浄化活動の実施【警察】</li> <li>● 県内大学生等へのサイバー防犯ボランティア委嘱（令和元年9月末現在187名（前年比24人増））及び県民への啓発活動やインターネット上の違法・有害情報の通報等によるサイバー空間の浄化活動の推進【警察】</li> <li>● 広島県インターネット・セキュリティ対策推進協議会、金融機関等との連絡会議等の開催による情報の共有【警察】</li> </ul>

令和元年（平成31年）の取組を踏まえた現状と課題

- 侵入窃盗や自動販売機ねらいが頻発し、年々減少していた刑法犯認知件数が前年対比で増加に転じている。
- 防犯カメラについては、市町による設置又は補助金を活用した民間設置は進みつつあるが、補助金制度を整備した市町は一部にとどまっている。
- 通学路等における子供の安全確保が求められる中、防犯ボランティアは高齢化し、減少傾向にある。次世代ボランティアの育成や「ながら見守り」の普及などの子供の見守り対策が急務となっている。
- 特殊詐欺の被害件数及び被害額は減少しているものの、被害者に占める高齢者の割合は高く、キャッシュカードを窃取する手口による被害が発生するなど、高齢者を被害から守る体制づくりが必要となっている。
- インターネットの利用にかかる犯罪は、特殊性と専門性が高く、適切な利用方法など被害に遭わないための対策が必要となっている。

(2) 令和2年における基本的な取組方向(案)

- 身近な犯罪被害の抑止**
  - 身近な犯罪の発生に関する効果的な情報発信
  - 施錠意識の浸透と防犯性能の高い住宅・製品等の普及
  - ガイドラインの普及による防犯カメラの設置促進
- 子供・女性・高齢者等の安全確保**
  - 防犯リーダーの育成及び「登下校防犯プラン」の推進
  - 事業者による「ながら見守り」の推進など防犯CSR活動の促進
  - 高齢者等を犯罪から守る環境の構築と取組の強化
- 新たな犯罪脅威への対応**
  - サイバー犯罪への抵抗力の強化
  - 多様な主体による特殊詐欺被害防止対策の推進

プランに基づく取組を引き続き推進

《重点項目》